

神奈川県薬剤師会学術フォーラム in 湘南医療大学 一般演題採択結果

時間	会場	演題番号	領域	筆頭演者指名	演題名
11:15～12:00	講義室 3	0-1	その他	橋爪美萌	再生医療・細胞治療の時代における薬剤師の展望－横浜薬科大学 iPSプロジェクト統括研究室の取組から－
		0-2	基礎研究	新田友香	Amyloidβ誘導のアルツハイマー型認知症モデルにおけるX線照射の影響
		0-3	セルフメディケーション・医薬品管理	宮澤壽成	漢方薬の安全性研究を基盤にした健康サポート薬局発の地域連携型Pharma Living Lab Café構想
		0-4	基礎研究	加藤英明	オピオイド製剤に関わる医療事故およびヒヤリ・ハット事例調査
		0-5	多職種連携・地域医療連携	橋本学	薬局における心不全患者へのSGLT2阻害薬導入率の実態調査－基幹病院とクリニックとの比較－
		0-6	多職種連携・地域医療連携	石田順子	薬を捨ててしまう患者の服薬コンプライアンスどうする？～在宅の場合～
11:15～11:35	2 階廊下 (情報処理実習室前)	P-1	多職種連携・地域医療連携	露木聡史	神奈川県地域連携薬局機能向上事業における藤沢市・横浜市鶴見区での薬業連携の実践と県内展開への可能性
11:40～12:00		P-2	薬の過剰摂取・薬物乱用	和田野歩	学校薬剤師による薬物乱用防止教室を通じた医薬品適正使用教育の実践と評価
11:15～11:35		P-3	薬の過剰摂取・薬物乱用	森田育子	医薬品の過剰使用（オーバードーズ）の小・中・高校生用講義資料を用いた薬物乱用防止教育の実践と効果検証
11:40～12:00		P-4	薬の過剰摂取・薬物乱用	白子順一	医薬品適正使用啓発動画作成の取り組みと活動報告、今後の展望について
11:15～11:35		P-5	その他	市川浩	将来の神奈川県薬剤師会会員の育成 薬学部 4 年生からの薬剤師会活動への参加
11:40～12:00		P-6	その他	小関雄介	SNS等を用いた広報活動（第 2 報）
11:15～11:35	2 階廊下 (講義室 3 前)	P-7	多職種連携・地域医療連携	鈴木大介	鎌倉市における医薬品供給体制の構築について
11:40～12:00		P-8	多職種連携・地域医療連携	服部裕吾	入院時・退院時薬剤管理サマリーに関する薬業連携研修からみた入退院連携の実態・課題：アンケート調査
11:15～11:35		P-9	多職種連携・地域医療連携	恵木立	【活動報告】川崎市院外処方プロトコル拡大の現状
11:40～12:00		P-10	多職種連携・地域医療連携	山森麻代花	薬学的視点の均てん化を目的とした薬剤レビュー様式の有用性―新人薬剤師による薬剤レビュー実践の一例報告
11:15～11:35		P-11	多職種連携・地域医療連携	佐野雅子	薬局薬剤師と訪問看護師の情報交換会実施における地域薬剤師会の役割と地域医療への貢献
11:40～12:00		P-12	薬の過剰摂取・薬物乱用	荒木由紀	中学校版薬物乱用防止教育横浜型プログラム(大麻編)と薬の過剰摂取(OD)編を用いた薬物乱用防止教育
11:15～11:35		P-13	セルフメディケーション・医薬品管理	島田顕	在宅患者において抗コリン作用があるOTC医薬品のリスクを回避した一症例
11:40～12:00		P-14	セルフメディケーション・医薬品管理	新津美貴	薬局製剤販売を妨げる要因とその対応策の検討
11:15～11:35		P-15	災害	小川明男	災害時における薬局の安否確認支援システム『ひなやく開局ナビ』の開発と実装
11:40～12:00		P-16	災害	岩井俊秀	熊本地震災害（益城町）と能登半島地震災害（能登町）におけるモバイルファーマシーの活用方法の違い
11:15～11:35		P-17	地域支援活動	門垣雪江	「ひと涼み処」事業における薬局の役割 ～行政との協働と会員アンケートからの振り返り～
11:40～12:00		P-18	薬の過剰摂取・薬物乱用	行方瑛理	エトミデート含有 VAPE「ゾンビタバコ」乱用の実態と健康・社会的影響の評価
11:15～11:35		P-19	基礎研究	石田歩羽	麻薬・抗がん剤ガラスアンプルの破損・薬液飛散を防止するプロテクトシールの開発と性能評価